



資料

1 碧南市地域自立支援協議会設置規定

(設置)

第1条 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第89条の3の規定に基づいて、障害者等への支援の体制の整備を図るため、碧南市地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立性及び公平性の確保に関すること。
- (2) 困難事例への対応のあり方に関すること。
- (3) 地域の関係機関によるネットワーク構築等に関すること。
- (4) 障害者の就労支援に関すること。
- (5) その他障害者施策の策定及び推進に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 関係行政機関の職員

3 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(会長)

第4条 協議会に会長を置く。

2 会長は、市長が任命する。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(作業部会)

第6条 協議会に困難事例、就労支援等について具体的な検討を行うため、作業部会を置く。

2 作業部会は、協議会の委員及び委員の属する団体の担当者をもって構成する。

3 作業部会は、必要に応じて、会長が招集する。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、福祉子ども部福祉課において処理する。

2 碧南市地域自立支援協議会委員名簿

No.	役職	団体名		委員氏名
1	会長	碧南市社会福祉協議会		中山 修
2	職務代理	碧南市手をつなぐ育成会		牧野 昭彦
3	委員	碧南市身体障害者福祉協会		鈴木 たか子
4	委員	碧南市民生委員児童委員協議会		三田 恒夫
5	委員	NPO法人ハートフルあおみ		水野 啓章
6	委員	刈谷公共職業安定所碧南出張所		佐藤 裕
7	委員	愛知県衣浦東部保健所		杉浦 小百合
8	委員	愛知県刈谷児童相談センター		佐々木 大樹
9	委員	愛知県立安城特別支援学校		堀部 孝
10	委員	愛知県立ひいらぎ特別支援学校		小林 智子
11	委員	碧南市小中学校校長会		新美 哲夫
12	委員	親子の会「カラフル」		鈴木 由記
13	委員	身体に障害のある子の親子の会「すまいる」		永井 美幸
14	委員	ほっとまんまピアサポーター		杉浦 有美
15	委員	碧南商工会議所		山本 直仁
16	委員	碧南市農業委員会	平成29年7月19日まで	加藤 浩孝
			平成29年7月20日から	神谷 昌明
17	委員	スギ製菓株式会社		杉浦 信秀
18	委員	西三河南部西障害者就業・生活支援センターくるくる		加藤 正昭
19	委員	刈谷病院		水野 美香
20	委員	ふれあい工房アルゴ、 ガイア相談支援センター		雲出 佑
21	委員	就労センターオアシス碧南		河野 大輔
22	委員	碧南ふれあい作業所		竹内 涼
23	委員	りはくる		小幡 一美
24	委員	愛知教育大学		岩満 賢次
	圏域アドバイザー	社会福祉法人ぶなの木福祉会	平成29年8月1日から	山北 佑介

事務局：碧南市福祉こども部福祉課及び碧南市社会福祉協議会地域福祉課

3 ヒアリング・アンケート結果（要旨）

団体別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団体A	<p>実際、障害について、興味を持っていただくことは、とても難しいことだと思う。身内や身近な友人に障害者がいれば違うと思う。障害児（者）に関わる周囲の方々の支援の仕方だけで変われると思うので、理解者を増やすことは大切だと考えている。</p> <p>また、子ども達にも障害について知ってもらうことは大切だと思う。</p> <p>今の学校の支援級のイメージ（勉強ができない子がいる、自分には関係ないクラス）を変えられるといい。そのために障害、支援級について理解のある大人がいる必要がある。</p>	<p>まだまだ分からないことが多々あると思うので、自団体でも常に情報を収集して、碧南市に住む障害児を持つご家族の方々へ発信していきたいと思う。何か情報があれば、教えてもらいたい。</p> <p>福祉サービスの詳細がわからない。</p> <p>市が新しいサービスを行う時などは特に情報を発信して欲しい。</p> <p>困ったことについて相談出来る体制や対応のサービスの充実をして欲しい。</p>	<p>放課後等デイサービスや日中一時支援について、夏休みは手続することで日数が増やせるが、春休みや冬休みも同様に日数を増やすことができないかという声が挙がっている。</p>	<p>障害のある方が、仕事に慣れるまでのフォロー体制がしっかりあるとよいと思う。</p> <p>親として、子どもに働くための心構えを伝えていかないといけないと考えているが、企業がどんな人材を求めているかわからないので、保護者と企業の考え方をマッチングさせる機会があるとよい。就労について一般企業へ質問する懇談会を開催したところ企業側もしっかり把握してなかった事がわかりよかった。</p> <p>また、特性がわかりづらい障害の方々の支援は大丈夫か不安を感じる。</p>
団体B	<p>障害の重い人の日常の暮らし自体が、知られていないので、様々な事で不都合や不便を感じている障害のある人とその家族の思いが多くの人に理解されづらく、不便なことの解消を要望しても叶わない。</p> <p>外に出られないことを知られていない。自分の家族が障害者にならないとわからない。</p> <p>車いすで行けない場所へは行くことを、あきらめざるを得ず、行動に制限がある。公共施設（文化会館、芸文、サンビレッジ等）でも車いすでは不便。</p> <p>親は子どもから目を離せないで、親同士で集まることができない。</p> <p>サンビレッジの風呂やプールが、水に濡れても大丈夫な紙おむつであれば利用可能にして欲しい。水に濡れるので、専用の車いすを設置して欲しい。</p>	<p>ラインのグループでたよりを出している。（ラインのグループに入っていない人に情報提供できない。ひいらぎ特別支援学校の在校、卒業であれば、グループに入れる。）</p> <p>情報をもらえない人は、障害を認めたくない等の意識がある。</p>	<p>サービスの受給時間等はあっても、事業所の職員不足等の理由で満足には利用できない状況。</p> <p>離職しないよう働きやすい環境づくりが大切。</p>	<p>身体障害があると、身の回りのことについて支障を要することがあるため、知的な能力、技術があっても就労に結びつかせることが難しい。</p> <p>トイレなど介助サービスを付けるなどのサポートが必要。</p>

質問5 障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題はありますか。	質問6 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。	質問7 障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題はありますか。	質問8 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。
<p>相談支援員がうまく動いてくれ、不安なことがあっても、相談しやすくありがたい。 学校と事業所とうまく連携を取ってもらっていて、ありがたい。</p>	<p>グループホームなど学校卒業後や親亡き後の事が考えられるような施設が増えるとよい。保護者をもっとニーズを訴えていくべきだと思う。 また、在宅で暮らしていく訓練等を実施するサービスがあればと思う。</p>	<p>障害児に関わる人達の情報の共有が必要かと思えます。 サポートブックを学校の支援級、発達障害の疑いがある子等の保護者や支援者にも利用してもらおうと思う。 また、活用方法についても、子ども達の情報等を保護者だけでなく支援者にも記入してもらおうと良い。</p>	<p>障害があっても、できることがたくさんあることを一般の人に理解してもらおう機会が必要。 障害者が作成した物をまわりの人に知ってもらおう事、障害者が仕事をしている姿をまわりの人に知ってもらおう事が必要だと思う。 親は、小学生から中学生支援級になると高校へ入学できないと不安になっているので、高校にも支援級クラスがあると良い。（高校がないと無理して中学校にて普通級へ行きはじめ等を受けてしまう。）</p>
<p>事業所の都合で担当の相談支援専門員が予告もなく代わってしまうことは、とても不安になる。 様々な個人情報を伝え信頼しているので、やむを得ず交替するときは、当事者も含めたしっかりとした引継が必要と思う。</p>	<p>ショートステイ 医療ケアを含む福祉サービスを提供できるヘルパー事業所 学校に通いながらも支援が受けられるように訪問介護や保健師が学校に立ち入って、吸引器や呼吸器等の操作・利用ができるようにしてほしい。 重度加算があるとよい。</p>	<p>学校関係者の障害等に関する知識と技術の向上 障害のある児童が地元校に入学を希望した際の柔軟な対応。 身体障害のみで車いすが原因で小学校に入れなかったことがあった。同じ社会の一員として成長させていきたい希望があるので、そのようなことをなくしてほしい。（健常者にとっても理解に繋がる。）</p>	<p>重度心身障害者の入れるグループホーム、重度心身障害者をサポートできる拠点（市民病院でやってはどうか。） 障害のある人となない人などが共に暮らすということを意識したイベント、事業があるとよい。（市民に広く障害のある人のことを理解してもらおう。） 保護者の急病時などの緊急時にレスパイトできるとよい。 知多地域でやっているような障害の有無関係なく一緒に楽しめるような発表会など文化的な楽しいイベントなどがよい。</p>

団体別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団体C	<p>発達障害に対する認識は、以前に比べると広がっていると思いますが、まだまだ理解されていない部分も多いと思います。</p> <p>発達障害は、目には見えない障害なので、わかりづらく行動を誤解されがちです。</p> <p>地域で、障害のある人が生きやすくなるよう啓蒙活動を行っていくことは必要だと思います。</p> <p>車いす、視覚障害は、学校でも総合学習の時間で教わるが、発達障害については知られていない。愛知キャラバン隊ネットワークによる講演会を小学生で開講しているので、一般の人や親にも見に来て欲しい。出来るだけ小さいころから出来ると良い。</p>	<p>福祉サービスの情報や利用については、多くの方が認識、利用されているように思えます。ただ、昨今、放課後等デイサービスの事業所が急増していて、利用者側としては、選択することができるというメリットがある一方、各事業所に関する情報が不足しているように思います。保護者が子どもに合った事業所を見つける手立てとして、その事業所の特長や利用者の年齢層などを載せたパンフレットの作成してほしい。</p>	<p>支給量の増加 子どもの特性が強いと支給量が少ないと感じる人もいます。支給量があるだけでなく、親と子どもの関係づくりもきちんと出来ていることも必要。 家族の状況に応じてレスパイトの機能を充実して欲しい。</p>	<p>徐々に市内でも就労施設が増えていると聞いています。啓蒙活動の意味も込めて、地域や一般の方に障害のある方が生き生きと働いている姿を見ることが出来る就労施設ができるとよいと思います。作業所のような事業所内作業だけでなく、レストラン、カフェなどの地域密着型の施設があればと思います。</p>
団体D	<p>どう接してよいかかわることが一番だと思う。その講習となるような機会がたくさんあれば、よいと思います。</p> <p>子供を中心として親も巻き込んでいくような交流の場の創出ができるとよい。</p>	<p>点字を必要としている人達の情報が、個人情報保護法等により、わからない。団体としてどのくらいニーズがあるか把握できていない。</p> <p>団体のサービスを利用する人の高齢化が進んできている。点字を読むのが高齢になると難しい。</p> <p>盲学校に通う方と団体の仲立ちを市にしてほしい。</p>	<p>困りごとがあった際にどの相談窓口に行けばいいのかわかりづらい。</p> <p>市でも福祉ガイドブック等を作成しているが情報が細かすぎる。</p> <p>困りごとと相談窓口の対応関係が分かるような情報をホームページ等を活用して周知してほしい。</p>	
団体E	<p>調子が悪くなって病状が出たときに周囲の人の理解が得にくい。広報に病気や障害の内容や接し方など（統合失調症とはとか、糖尿病などのように）載せて欲しい。</p>	<p>情報をしっかりと把握できていないことや情報の内容をよく理解できていないままのことがよくある。就労支援サービスがあることや、自立支援医療を使えることを知らない人がいる。迷惑がかかるとかと思ってしまふ、恥ずかしい、障害を認められない、いつか治ると信じる等々かってしまう。</p>	<p>せっかく受け入れができる場所があっても、本人が独力では通えなかったり、ヘルパー等を入れることに抵抗がある人もいます。（時間がかかったり、相談する人が少ない。）</p>	<p>症状が出ているので、就労について具体的に考えられなかったり、また悪化するのは？という不安がある。（急に悪化してクビになるのではという不安がある。）休んだ時の補償が企業側にあるとよいのではないかな。</p>

<p>質問5 障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題はありますか。</p>	<p>質問6 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問7 障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題はありますか。</p>	<p>質問8 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。</p>
<p>個別支援として、相談員、事業所、本人（又は家族）間で、ケース会議が行われることがありますが、学校教育の支援者の参加が難しい傾向があると思います。学校は、家庭の次に子どもが長く過ごす場所でもあるため、一貫した支援を行うためにも、できるだけお互いの情報交換、情報共有ができる環境にしておく必要がある。</p> <p>学校ではやれる事、学校だとやれない事などをふまえた議論が出来ていない。またケース会議は、子どもに問題があった時に開きたいが、タイミング良く開催することも難しい。</p>	<p>児童発達支援サービスの事業所（早期発見・早期療育につながるため、親のレスパイトのため） 一番手がかかる年代で支援を必要としている家庭が多い。市外に通うとなると負担が多い。にじの学園の受け入れ定員を増やして欲しい。</p>	<p>いわゆるグレーゾーンの子どもは、幼少期から療育の枠から漏れ、問題行動が増えてくる小学校頃から、わかることが少なくない。家庭への情報が不足し、なかなか支援に繋がらない傾向がある。</p> <p>学校サイドで、サポートブックや、親の会等の紹介、キャラバン隊講演や教育講演会の参加の勧め、福祉サービスの簡単な説明など、大まかな子どもの支援について、保護者に伝えることができれば支援へと繋がりがやすいのでは。</p> <p>また、こころつくしんかわなど、子供連れていつも遊びに行っている所に、アドバイザーをくれる支援員がいると、情報伝達の機会は増えると思う。</p>	<p>相談、支援の拠点となる発達支援センター 障害のある子ども、家族が安心して過ごせる場所があるこころつくしんかわなどの公共施設が、子どもが自力で行きやすい各学区毎にあると良い。</p> <p>家族が安心して過ごせる拠点にもなるうえ、子どもたちと遊びに行くついでに相談出来る。</p> <p>おもちゃ図書館祭りの評判が良く、こころつくしんかわの評判も良い。碧南は児童館が充実していると感じる。</p> <p>障害のある子ども地域に堂々といいんだという気運が必要。 グループホームの充実が必要。</p>
			<p>今の制度がどれだけ周知され、利用されているかも大切だと思う。周知が十分かどうか、判断するために利用率の確認が必要だと思う。周知が十分かどうかは、当事者に聞かないと解からない。</p> <p>障害の方が、集まる場所や機会を生かして、周知を図る必要がある。</p>
<p>精神障害は、まだ相談に繋がっていない人が多いと思われる。</p> <p>家族会が弱体化しているので、なかなか家族会で会えない。（→家族懇談会当でPRをしてはどうか。）</p>	<p>長時間作業を行うことが苦手な人にとっては、一般企業での就労が困難であるので、訓練や賃金を得るためにも就労継続支援A型が、もう少しあるとよい。</p>	<p>把握されていないケース（家庭）がないか？親が障害を認められない等、サービス利用開始のハードルが高く、こどもに対して適切な支援を行うことができないこともある。</p>	<p>障害に対する理解がもう少し進むとよいと思う。知ってもらうことが大切。</p>

団体別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団体F	<p>どうしても奇異な目で見えてしまいがち。 聴覚障害者は、外見ではわかりづらいので、余計理解が得られない。</p>			
団体G	<p>障害のある人に対し、ボランティア活動をしている人や家族は、接することに対して何とも思わないが、そうでない人にとっては、少し壁（距離）があるように思う。障害を理解するのは難しく、どうしても見た目等で判断しがちになってしまうと思う。隔たりをなくするため、ふれあう機会を持てる方法を探して欲しい。</p>			<p>障害者の障害程度や能力によっても人様々なので、はっきり言えないが、就労先は少ないように感じる。 以前は、生活介護事業所での作業においても楽しみがあったが、事業運営の中で利益追求を余儀なくされ利用者にとって面白味の少ない作業ばかりが残ってしまうこともある。 障害者の方々それぞれが出来ることを見出し、それを続けていけるような就労先の発掘、維持活動をして欲しい。</p>
団体H	<p>障害者雇用を進める企業の中でも、正しく理解している方がまだ多くなく、障害の正しい理解を伝えることは課題であると感じる。 障害の受け取り方がまちまちで、どのように仕事を任せて良いかわからない企業も多い。企業の理解促進のため、セミナーの実施や就労継続支援事業所の見学などが必要と思われる。</p>	<p>情報提供については、特に問題ないと思います。</p>	<p>サービス利用の検討から開始までのスピード感が大切だと思います。 障害者のモチベーションが落ちないようにすることが必要。</p>	<p>障害者本人及び家族の就労したい気持ちとそれを受け止める企業の障害に対する理解 障害者本人が働くイメージが想像できておらず、就労の継続ができないことがあるため、就労現場を見せる機会を多く作ると良い。 企業からの相談もよくある。特に雇用前にはなかった問題が浮上した場合や、症状が急変した場合、また雇用募集を出しているが応募がないなど。</p>

質問5 障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題はありますか。	質問6 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。	質問7 障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題はありますか。	質問8 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。
<p>その人その人の考え方がるので、何とも言えないが、家族だけで孤立している感じがする。</p> <p>色々な団体があるので、そういったところに所属するなど、外に向けての働きかけを市としてもして欲しい。</p>	<p>難聴者に対する要約筆記者の派遣事業が受けにくいのでは？と思う。</p> <p>利用したいなと思っても、面倒だからと申請しないで済ませてしまうということをよく聞きます。</p>		<p>人工内耳の買替が高額なため、助成金をいただきたいと難聴者からの要望有。</p> <p>健常者であつても高齢になれば、耳の聞こえが悪くなり、難聴者と同様に福祉サービスが必要になります。</p> <p>他市の助成金の状況は、体外装置を買替の場合、日常生活用具として（岡崎市35万円、豊田市20万円、豊橋市20万円）情報がありません。</p>
<p>障害のある人が高齢化してくることで、保護者等も高齢なので、余暇支援活動をしている場にも、出て行きたくとも行けなくなってきた人が増えてきた。旅行等にも参加しなくても付き添いがいと参加できず、家族など周囲の人の理解が必要。</p> <p>旅行時などに一時的にボランティア求められても、本人の性格や特性の理解が出来ないと支援もむずかしい。</p>	<p>若い人材を増やすボランティアの育成が必要だが、新規加入の人がなかなかいない。利用者や会員の子供さんが加入することが多少ある程度。</p> <p>中高生のボランティアが長期休暇時に手伝ってくれるが、一時的なもので、会員になってくれることはない。</p>		
	<p>就労移行支援事業所を行っている企業が碧南市内に少ない。</p>		

団体別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団体 I	<p>小学校によっては、障害のある子の理解についての勉強会があります。そういう機会を特定の小学校ではなく、全市で福祉の事業で取り入れていただけたら、よい機会に繋がると思います。（西端小学校では、毎年小学校5年生で自閉症などの勉強会があり、聞く小学生も年齢的にも受け入れられて、とてもよい機会となっています。）</p>	<p>事業所や相談支援など、昔に比べて手厚く、子どもに対する支援計画を考えてくださることをありがたく思っています。 細かい情報を届けるのは難しいので、相談窓口だけでもわかりやすく周知できるとよい。</p>	<p>基本回数を増やす際などに、簡単にできたと聞くこともあれば、なかなか希望を通すことに難しさを感じたということも聞きます。窓口での取扱について、平等性を統一して欲しいと思います。 放課後等デイサービスなどは支給基準が他市と比べてバランスが悪いのではと感じるところがある。ただ、家庭での時間も大事なので多すぎるのはよくないことも理解できる。</p>	<p>放課後等デイサービスなどでは、将来の就労に向けての個人のスキルアップを目的とすることがあります。刈谷の「くるくる」のように、就労移行からの一般就労を目指せるような放課後等デイサービスの事業所が、碧南・高浜辺りであるとより就労に向けた訓練が利用しやすいと思います。 新規事業所の開所や事業内容の見直しを行ってもらうためにも、需要が一定数あるということも市でも事業者に向けてアピールしていく必要があるかも知れない。</p>
団体 J	<p>障害者三法として制定された法律は、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法。この社会変化の中、徐々にはですが、自立していく人があります。ですが、障害者は、どちらかと言えば、不利な職場での対応とならざるを得ない状況です。それでも頑張っているようです。今は、インクルーシブ教育と言われていますが、教育をする側も頑張ってください。 地域として支援していくにあたり、小中学校、高校への進学時は支援情報の伝達があるが、社会に出る際に途切れてしまう。 知的障害者の教育を社会人になっても続けられる場を設けてください。障害者にも努力させてやってください。 就労継続支援B型の事業所においてでも社会能力を勉強することはでき自立につながられることもあると思う。</p>	<p>知的障害者にとって、過去10～15年前より法律の改正があり、諸条件が大きく変化してきました。変化に対応すべき勉強会には、当団体主体が大半で、その資料は会員には、できるだけ配布してきました。 後見人制度の勉強会を市職員の話をつきかきに行き実施してきましたが、今後社会福祉協議会と相談し、年1～2回勉強会を実施していきたいと思っています。 一方で会員以外の人に情報を流すことは難しい。情報をそのままコピーして流してしまうと著作権問題などもあり心配。</p>	<p>サービス内容は、個人個人により差があります。 作業所等に通所している人は、施設職員とコミュニケーションを大事にしていれば、年間行事等で日常サービスは心配ないと思います。 環境の変化があった場合、相談する人が近くにいれば、問題ないと思いますが、いない場合社会福祉協議会の窓口を利用していると思います。 将来の不安は、なかなか相談になりませんが、将来に備える考えも必要なのは？ どのようなサービスがあるか理解していない人が多い。</p>	<p>まず第1に就労移行支援事業所の利用者が少ない。その上、市内事業所で他市の障害者が働く姿が見受けられる。 障害者が仕事をするために、仕事を見直す必要があり、現状の仕事は一般の人が作り上げたもので、障害者が作り上げたものはほとんどない。 仕事の全行程を一人でやるのではなく、部分的な仕事を分業制にするなど、その人のできる事を、仕事とする仕組みが必要だと思いません。</p>

質問5 障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題はありますか。	質問6 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。	質問7 障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題はありますか。	質問8 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。
<p>地域によって相談員が丁寧に色々教えてくださり、とても助かっています。</p>	<p>サービスではないが、就労意欲のある障害者が少ないと思う。</p>	<p>健診によって、その子に応じた様々な教室の案内をしてくださることは、とてもよいことだと思います。それについて積極的に参加する人はよいけれど、それを受け入れられずにいる母親が、入園する時にその情報がないので、母親同士のネットワークができるように繋がりを持てる仕組みを案内していけるとよいと思います。</p> <p>細かい情報を届けるのは難しいので、相談窓口だけでもわかりやすく周知できるとよい。</p>	<p>もっと色々な選択ができるよう働く場を充実して欲しいです。</p> <p>将来的には、グループホームなどを作って親亡き後も安心して過ごしていける環境づくりをして欲しいです。</p> <p>新規の事業所ができるためには、マンパワーが足りない。市内の資格を持った主婦層を活用できるとよいと思う。</p>
<p>知的障害者を持つ親は、第三者に相談することが少ない。問題点が知的な部分になると、専門家（医者、精神科医等）に頼らざるを得ない。障害者本人が相談することができる人は、ごく少ないし、又当団体の親としても障害者本人とじっくり話ができる人はまずいない。親の一方的な話になると思います。</p> <p>障害がある人でも自身の意見は言えるので、そのための聞き出す努力が必要というように、親の意識を変えられるような支援が必要。</p> <p>また、昔は何か困りごとがあった際は春日井コロニーに行けば問題解決の糸口がつかめたが、今は開業医の紹介がないと総合病院にかかれぬ。</p> <p>病気になった時、どこへ行って良いか分からない。専門的に相談に乗ってくれる人が欲しい。</p> <p>障害者の高齢化に伴い、その親の高齢化が進んでいる。</p>	<p>碧南市内に企業が少ないのがもったいない。（他市へ流出する。）</p> <p>高齢者福祉に対する需要が高まっていると想定されるなか、障害者を介護に積極的に参加してもらい就労して活性化するとよい。</p>	<p>（一人で考え、悩みがちなので、）障害児を持った親の将来を一緒に考えてあげる。</p> <p>子どもの育ちの方向性を示すことができれば、親の生き方にも繋がる。</p> <p>子どもの問題につき、夫婦で話ができるようにしなければ、母親一人の問題となってしまう。</p> <p>制度の問題でなく、家庭の将来が見えるようにすることが大事。</p> <p>親が自分の子（障害児）の現状について真剣に考えてあげられるようにする。</p>	<p>就労支援事業所に就職し、仕事の適正を十分に確認してもらい、就職斡旋を受け、数年間定着支援を受ければ、仕事は安定すると思う。</p> <p>ただし、障害者は同時に複数の職業を仕事としてするのは難しいので、その都度配慮してもらわなければ、定着率向上は難しい。企業側が障害者側に出来得る業務内容を聞き出す仕組みがあると良い。</p> <p>グループホームを完備し、就職後の生活を安定させる。支援員が働きやすい環境、地域にグループホームの存在が受け入れられている環境を作れると増設につながるのでは。</p> <p>親からの自立を目指し、将来の家庭を応援することが必要だと思うが一方でグループホームへ最初から入居させないための努力をさせることも地域で生きていくうえで必要。</p>

団 体 別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団 体 K			通っている子どもへの福祉サービス 当園に通いながら、保育園や事業所の利用を積極的に進めてほしい。	
団 体 L	本人の高齢化、親の疾病や高齢化、住宅について地域社会でどう対応していくかが重要。(障害者のいる家庭を地域社会が把握しておく必要がある。)理解を得るためには、接するしかないと思う。実際関わらないとわからない、関わることで見方が変わる。小さい時からふれあう機会を増やす。福祉実践教室(アイマスクや車いす体験)の回数を増やして体験を増やす。障害者用の施設を作ってしまったのも実はよくなかったかもしれない。(昔は専用の施設はなく、社会にいるのが当たり前だと思われていた時代もあった。)同情はしなくてよくて、差別をしないようにすることが大切。			企業にゆとりがないと不満が出る。 企業も神経を使う。 上司や雇う側の教育が必要。
団 体 M	最近、身体障害に理解のある人、声掛けをしてあげられる人が、地域に増えてきたと感じる。 様々な場所での小さな運動が功を奏しているのではないか。街の中で見知らぬ人に声をかけ、車いすを押す姿があったり、福祉実践教室でも、児童が声をかけ、車いすを押しており、実践教室は効果的だと思う。自分のおじいさん、おばあさんのように障害者にも接して欲しい。ふれあい大切で、ふれあいことで理解してもらえる。	介護老人保健施設などで受ける介護保険サービスなどについては、障害者への情報提供は特に少ない。 また、自らサービスに関する情報を仕入れようとする障害者も少ないので、その点の情報提供に問題があるのではないか？ 心身障害者福祉センターのデイサービスはすばらしい(家族で時間をすごせる。楽しい時間をすごせる。)ので、もっとPRすべき。	若い障害者(身体)が、特に就労しておらず、家庭内で過ごしている人もいると思うが、その人達が心身を回復して家から出て来られるようになるためにも、心身障害者福祉センターのデイサービスの存在を知って欲しいと強く思う。	障害者の作業所などあるが、障害の状況に合わせて就労の時間数などに差があってもよいと思う。 本人のできる範囲を見出し、その中で就労を可能とする取り組みがあっても良いと思う。

質問5 障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題はありますか。	質問6 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。	質問7 障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題はありますか。	質問8 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。
		<p>のびのび教室を卒業してから、当園に入園するまでの期間に支援が空いてしまう。</p> <p>保育園等で集団で生活できない子が多く、人手が足りなくなってしまう。</p>	
<p>専門職によるカウンセリングを定期的実施した方がよい。</p> <p>分野ごとに決まった相談支援専門員が欲しい。</p> <p>福祉の希望を聞き取るために積極的に関わる必要もあるが、そっとしておいて欲しい人もいる。</p>	<p>親を教育し、早目に相談支援に繋げることが重要。</p> <p>人と人の付き合いが大切。</p> <p>関われる場所が必要。伝える手段を多くする。（相談に繋がるような講演会を実施し、家族や知り合いから情報提供してもらう等）</p> <p>難しいと言って、やらないのがダメで、時間はかかるが、できることをやり続けることで少しずつでも広めていく。（昔よりはよくなってきている。）</p>		
<p>当協会の存在を知ってほしい。</p> <p>障害を持つ者同士の気安さもあり利用してこそ、そのよさも知れる。</p> <p>関係者も障害の状況は人によって違うが、精神的に開放される時間もできたり、他の人の様子もわかがい知れ、気持ちの支えになると思う。</p> <p>家族がその気にならないといけない。</p> <p>障害になったことを悲しまずに楽しいことがあることを知ってほしい。（充実した生活を送れることを知ってほしい。）</p> <p>親の意識を変えるのがよい。</p> <p>当協会の活動を広げたい。</p>	<p>障害者を持つ家族、本人に対して、市が行っているサービスの内容がしっかり伝えられていないのでは？</p> <p>特に何らかの活動ができるのに、何もせず家に籠っている人がいるのではないかと思う。</p>		<p>周りの方、地域で接する方々の優しい声掛けなど障害者を特別な存在だと思わず、隣人に対するような自然体で接していただけるための運動があるとよい。</p>

団体別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団体 N		<p>進路先を考える上で、毎年度始めに日中活動の事業所全てを訪問し、定員数、空き状況、支援内容等の聞き取りを行っていますが、かなりの労力が必要なので、こうした情報が一元化されていると助かります。</p> <p>近年事業所の新設が多く、単独での情報収集が厳しい。</p> <p>数年後の事業展開予定などの聞き取りを行い、情報提供、対策検討できると良い。</p> <p>事業種別毎に市内の各事業所が集い、日頃の業務などで不安なこと、他の事業所ではどのように対応しているか聞きたいことを尋ねられる場があると良いのでは。</p>	<p>在学中に利用できる放課後等デイサービスについては、「使い過ぎ」と思われるケースも見受けられ、家庭での支援力低下に繋がっていないか心配しています。</p> <p>放課後等デイサービスと学校と家庭の支援が連携でき、本人のよりよい成長に繋がるようになって欲しい。</p> <p>卒業後の進路については、平成31年3月卒業の生徒について、特に生活介護の空き状況が厳しく、心配しています。日頃から、在学生の予想進路（普段支援している教員の見立てによる）と事業所の空き状況や事業所の今後の事業計画等を把握するシステムが欲しいです。</p>	
団体 O				<p>障害のある方に対するイメージが凝り固まっているため、それぞれの方にできることなどが伝わるように雇用側（地域社会）に働き掛けていく必要があると思います。特別支援学校では、地域の学校と交流を持つため、居住地校交流を行っている。</p> <p>知的な障害がなくても身体的な介助が必要な場合、就労先に協力を受けられるのか、現状としては在宅か医療以外に行き先がないのが現状です。</p>

<p>質問5 障害のある方やその関係者 に対する相談支援について、 問題点や課題はありますか。</p>	<p>質問6 碧南市で不足している障害福祉サ ービスは、どのようなものと思わ れますか。</p>	<p>質問7 障害児（又はその疑 いのある児）の育成 について、問題点や 課題はありますか。</p>	<p>質問8 障害のある方が地域で暮ら すために、今の碧南市に必 要だと思われることは、ど のようなことだと思われま すか。</p>
	<p>・生活介護…学校が持っている数字では、本校の高校3年生が希望どおり進むと次のとおりです。 ふれあい作業所70/60、ふれあい福祉園ガイア58/40、ふれあいの杜まんなか17/20（利用/定員） また、高浜市の生活介護も全て定員を大幅に超えています。 その後の生活介護利用が予想される碧南市在住生徒数は、高校2年生が4名、高校1年生が1名です。（参考までに高浜市在住生徒は、高校2年生が5名です。） ・グループホーム…進路懇談では、親が元気なうちに入りたいという保護者がほとんどです。（西尾市はいいなとよく話されます。）</p>		
<p>各相談機関が、どのように連絡していくかが課題だと思います。そのために、基幹相談支援センター等がコーディネーター的な役割を果たしていく必要があると思う。 市は各種相談窓口がどこなのかのPRが足りないようにも感じる。</p>	<p>生活介護の事業所の定員がいっぱい今年度の卒業生が市内でサービスを受けられない状況である。医療的ケアが必要である生徒（重度）も安心して過ごせるようなサービスも不足していると感じる。 新規法人が参入できるように、地域でニーズが多いことも対外的に訴えていく必要がある。</p>	<p>支援の必要な児童生徒が、小・中学校に入学する場合に十分な合理的配慮ができる人材や設備が提供できるようにすること。</p>	

団体別	質問1 障害のある人に対する周囲の理解についての問題点や課題はありますか。	質問2 障害福祉サービスに関する情報提供について、問題点や課題はありますか。	質問3 障害福祉サービスの利用にあたって、問題点や課題はありますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって、問題点や課題はありますか。
団体 P	<p>入院されて来る家族の中には、精神病院へ入院したことは、他の親族には話せないという方もいる。</p> <p>精神の病気があることを他の親族、公的機関にも相談できず、問題が大きくなってからしか支援、介入ができていない。</p> <p>両親にケアマネが付いたときなどに対応できるよう、世帯に入っていける公的機関等の担当に精神保健の知識をかじってもらうとともに、福祉部局との連携を充実させると、少しは早く対応できるのでは。</p>		<p>丁寧に相談にのっていただいていると思います。</p>	<p>地域自立支援協議会に事業所関係の方が多く参加されていて連携が取れていると感じます。</p> <p>精神障害の方の理解が進むとよいと思います。</p>

<p>質問5 障害のある方やその関係者に対する相談支援について、問題点や課題はありますか。</p>	<p>質問6 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問7 障害児（又はその疑いのある児）の育成について、問題点や課題はありますか。</p>	<p>質問8 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要だと思われることは、どのようなことだと思われますか。</p>
<p>基幹相談支援センターと相談支援事業所の役割がわかりにくい。</p>	<p>住宅（グループホーム）とは思いますが、実際に（本当に）利用されるのかは、やや疑問もあります。</p>	<p>こども課と福祉課の相談窓口がわからず、混乱して相談に来られた母親が当院へ来たことがあります。ワンストップで相談を受けていただけるとわかりやすいかもしれません。</p>	<p>病院や事業所への移動手段（交通機関等）が少ない。</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所A	<p>一般就労できると利用者が減り、就労移行支援の経営が難しくなること。</p> <p>就労継続支援B型の工賃向上（サービス利用の受け入れは、事業所としての工賃を考慮を中心には行っておらず、余程重度でない限り受け入れするので、平均工賃の維持は難しい。）</p>	<p>就労継続支援B型の定員増 できれば店舗型の事業所</p> <p>就労継続支援B型を平成29年10月1日に駅近くに開設を検討。</p> <p>就労定着支援の実施の予定は、具体的な内容が示されたら検討します。</p> <p>店舗型事業所は、独立採算できるようなものを2年後くらいに予定。</p>	<p>グループホーム お金 公共住宅をグループホームに使えないか 経営してからの大変さがある 夜勤がある（従事する職員の質） 古いアパートの借り上げ</p>	<p>現状の就業・生活支援センター、就労移行支援、社協の相談支援でなんとか充足しているが、今後は法定雇用率が上がり、需要が増えると思われるので、それぞれ人員の増加が必要。</p> <p>利用者が、年間1～2人から5～6人に増加している。</p> <p>アウトリーチの人に就職できる人が増えるチャンスでもある。</p> <p>就労移行支援の事業利用者も増加傾向と思われるが、定員を超えるまでではない。</p> <p>就職できるアピールを就労継続支援A型を取り込んで行い、上手く就職できる流れを作るとよい。</p>
事業所B	<p>事業所での個々の課題に対し、まだまだ向き合えてないことが多くあるように思います。（行動障害、自傷、他傷への対応に向き合えていない。）</p> <p>また、家族の介護軽減になっているか？などは、いつも疑問に思いながら支援しています。来年、再来年あたりで生活介護の定員がいっぱいになりそうですが、それ以後の利用希望者はどうなってしまうのかについても不安です。</p> <p>家族が寝れておらず、疲労が気になる人などのために短期入所を他事業所と協力して受け入れ可能者数を増やすとよい。</p>	<p>短期入所をもう少し行えたらよいと思いますが見込みが立たない。</p> <p>地域のボランティアの方などと交流する場があればよいと思います。</p> <p>ボランティアに日常で運動、音楽、工作などを教えて欲しい。（→ボランティアサポートセンターに登録されている団体を参考にするとよい。）</p>	<p>入所できる所（グループホーム）は、まだまだ少ないように思います。</p> <p>利用者の親も歳をとってきているように思います。</p> <p>重度な人ほど行き先がない。一番手のかかるところに福祉サービスの手が届いていない。国、県が対応できない所を市でサポートして欲しい。</p>	
事業所C	<p>家族の希望と当事業所で提供できることのギャップがある。</p> <p>日中一時支援や放課後等デイサービスの内容や時間帯について、家族がすべきことや事業所では難しいことを強く要望され、事業所が断れずやってしまうなどの過剰サービス、キャンセルなどの事前連絡がないなどの課題がある。</p>	未定	<p>生活介護 日中一時支援 送迎の時間が現在算定しないが、加算対応すると請求の事務が複雑になるため、良し悪しの判断は難しい。</p>	<p>理解ある一般企業の開拓 生産するより、壊れてもよいリサイクル系がよいと思われる。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われませんか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思われませんか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思われませんか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
<p>スキル・資格を持った人員が足りない。 仕事の内容がわからず、応募者がいない。 給付費が少ないため、長い経験者を増やせない。</p>	<p>元気ッス！、きらきらウォーク、公園清掃などで交流している。 就労系の事業所の利用者は、コミュニケーションがとれる人であるし、仕事をやっていくことが出来るというアピールしていきたい。 他の団体と連携する。（ボランティアの清掃など） テレビでPRするのが効果的だと思う。</p>	<p>グループホームの数が足りない。 生活介護の事業所も利用者が選択できるほど数・定員はない。 設備、知識が必要 空き家などを活用してはどうか。（今ある資源を活用） 別の法人が参入できるとよい。 箱を作る人、経営をする人を分けるとよい。 看護師が必要だが、やれること、やれないことがある。（看護師がどこまでできるか、医師の指示が必要。） 障害の専門医が知りたい。</p>
<p>法や制度のことよりも、本当に利用者のことを思って動いていただける相談員が少ないと思います。 相談支援専門員の手助けをする人材を1でも追加することができれば、大いに助かる。 現場を経験したことのある人を相談支援専門員にするとよい。</p>	<p>地域への感謝。年に一度事業所でまつりを開催している。それ以外にも何か交流が持てればと思う。 年2回地域掃除を実施しているので、利用者に地域の人が声掛けをしてくれるので、ありがたい。</p>	<p>地域の方々の理解 充実した福祉サービス グループホームで、日中一時支援ができる とよい。 本当に大変な人に手厚い福祉サービスができるようにするとよい。（春休み、夏休みは、バタバタするので、その時だけでも手厚くできるとよい。例えば、ヘルパーとか。） 口腔ケアも大切なので、障害者専門の歯科医も必要。</p>
<p>児童と就労継続支援B型とで、相談支援の方法が異なる。 児童は、サービスに関することでも、相談が母親先行となりがちで、相談支援専門員の関わりが後からになってしまう。 まず相談支援専門員に相談してから、事業所に相談して欲しい。</p>	<p>交流なし。 今後、どのようにすれば地域と関わりが持てるのか考えたいと思います。 特性のある子達なので、地域の方に理解して欲しい。</p>	<p>防災訓練などを障害者と福祉施設が一緒に行えたらと思います。（→地区の防災会組織や障害者災害時支援部会が市の防災訓練に参加しているので、社会福祉協議会に相談してみてもよいと思います。）</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所D	<p>知識不足、理解不足、同じ病名でも人や環境、性別で支援方法が異なることが課題。情報不足、マンパワー不足により、職員が対応に苦慮している。</p> <p>支援の中で、障害者のパーソナルな部分を探っていくしかない。行政も、事業所が支援するために必要な情報（医師意見書の情報等）は積極的に開示してほしい。</p>	<p>緊急時、家族が安心して任せられる泊まりの場所を提供できるとよいと思っている。</p>	<p>緊急時の対応ができていない。</p> <p>入居の施設がない。重度者が市外の施設に頼らざるを得ない。</p> <p>高齢者、障害者の区分でなく、共生できる施設づくりが必要。</p> <p>そのような施設を開設する際に市や国県の補助金ももっとあるとよい。また、ニーズが不明瞭であり、どれだけ必要なのかわかりづらい。</p>	<p>雇用主側からの相談窓口がない。</p> <p>雇用してから判明することが多くあり、事前説明や本人の申告だけでは大きな隔たりがある。一度採用すると社会的責任もあり、相談する機関（窓口）が欲しい。</p>
事業所E	<p>子ども達が成長していく中で、次に繋ぐ先がなく、当事業所に居続ける子ども達が増えている。そのような子ども達にとって、有意義な時間を提供できるか悩むときがある。</p> <p>中学生、高校生を対象にしたサービス事業所があるとよい。</p>	<p>中学生以降の子ども達の支援をしたいが、人材教育の難しさを感じている。</p> <p>事業所は研修の機会が少ない。また、小さい事業所では、若い支援員にとっては自身と比較して刺激がもらえるような、同世代の存在がない。</p>	<p>小学校高学年から中学生の子どもに対する支援。</p>	<p>自己肯定感、自分を知ることが大切。</p> <p>各事業所や学校などの支援者が障害の特性等をしっかりと理解し自己肯定感を育んでいくことが必要。</p>
事業所F	<p>事業所の就労時間が夕方メインのためパート等の確保が難しい。一度就職した人が辞めないように休み等の確保、仕事量の調整によりケアしている。</p> <p>こどもの小学校入学に合わせ、勤めに出られる親が増え、それに伴って小学校1年生からの利用が格段に増加。支援に当たり、マンツーマン対応にならざるを得ず、常に職員の精神状態が張りつめている児童もいる。</p> <p>また、送迎の依頼も増加しているが、受けられず利用自体を断る（断念される）こともある。</p>	<p>生活介護（平成30年度に指定申請、平成31年度より実施を検討、対象は知的、発達障害が主）</p>	<p>児童発達支援、日中一時支援、生活介護、短期入所、移動支援、入所、グループホーム</p> <p>日中一時支援は特に土日の成人向けのサービスが足りていないと感じる。</p> <p>学童期のサービスは、余ほど十分にあるが、成人以降のサービスに不安がある。</p> <p>本来ならば、親子の体力が逆転してくる、成人期以降にサービスに頼りたいが、出来ない現実がある。</p>	<p>一般就労であれば、ジョブコーチ、支援員の力量。</p> <p>就労する上での必要条件是健常者も障害者も同じで、あいさつ（ごめんなさい、ありがとう）、人・物・場所等に対する適応力、苦手なことから逃げない忍耐力、わからない・できない時に自分から訴える力などが必要。</p> <p>身に付けるには長期戦なので、幼少期から将来の青写真を描き、育んでいくことが必要。</p> <p>そのためには家族の役割が大きいと考えるため、事業所としてサービスを提供する際に、考えてもらう機会を増やしていく。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思われますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思われますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
<p>マンパワーが足りない。人手不足の問題を解消するのは難しいと思う。 福祉分野の雇用は短期で辞めていく人が多い。資格取ったとたんに辞めていく人もあり。取得後2、3か月で退職する人もある。</p>	<p>地域の交流はある。地域の催しに声がかかると参加している。 個人情報保護に阻まれて、支援のための本当に必要な情報が入手できない。市としても対応してほしい。</p>	<p>家族のあいだだけの閉鎖的なコミュニティが出来上がってしまっており、外部からの把握や関わりが難しい。 行政の橋渡しや仲介があると双方にとって、有益だと思う。</p>
<p>障害福祉サービスが、他分野に理解されること。 障害福祉サービスが、他分野を知ること。 特に教育分野との連携が必要。</p>	<p>地域の特色を知ること、知ろうとすることが必要。 元気ッスへきなん！、総合防災訓練への参加ができることよい。</p>	<p>共生社会について、理解を深めること。</p>
<p>市として核となる施設の構築（基幹相談支援センターのみでは賄えない緊急時の対応ができる機関） 関係機関、支援者間の連携（事業所間の支援内容のすり合わせ等の連携が足りない。保護者自身が橋渡しの役割をする必要もあると思うが、実際は難しいので相談支援専門員等が調整していく必要があると思う。）</p>	<p>特にないが、日頃の感謝とお詫びを兼ねて（夕方の保護者の送迎で迷惑をかけているので）、毎年事業所近辺の方々にクリスマスプレゼントを子ども達と一緒に渡している。 地域交流を進めていく上で、それほど身構える必要があるのか。お互い様の心で、自然体でよいのではないと思う。</p>	<p>障害者歯科はあるが、他の医療にも広げられないか。診療時間まで待てないことや、検査や診察で何をされるのか分からない不安から、病院に行けない方もいる。 幼少期から健常児と障害児の自然な形での交流機会を増やす。幼少期ほど偏見なく自然に受け入れ交流できる。その経験が、将来生きると思う。そのために地域の学校で受け入れの範囲を増やすことが必要である。また、特別支援学校との交流の機会を増やしていくなどの取り組みも必要。 障害児の支援者の育成等も課題である。</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所 G	<p>職員体制が大変手薄である。(フルタイムの職員が1名退職)</p> <p>また、運営母体の体制もかなり脆弱である。(家族会や理事長が高齢となり、次に繋がる人がいない。)</p> <p>職員体制と事業所の場所の広さが一体して強化されると良い。(就労継続支援B型に近いこともやっているのので、事業所を1.5倍くらいに広げ、業務を分けたい。)</p>	<p>新たな事業種目の実施は考えていないが、就労継続支援B型をやりたい気持ちはある。</p> <p>地域活動支援センターとしての活動内容や運営状況の充実を図りたい。</p> <p>様々な人がいると行けない人もいるので、相談を受けながら、その人その人に合った居場所づくりをしたい。</p>	<p>より支援が必要な精神障害や発達障害の方が利用しやすい就労継続支援B型、地域活動支援センター(内容をもっと充実させる)</p>	<p>個別の相談による支援と就労継続支援A型、就労継続支援B型、地域活動支援センターでの日中活動を通しての支援の両方が必要。(日中活動をしながらか、就労相談や就職活動の支援)</p> <p>必要に応じて、職場実習などの機会を作っていきたい。</p>
事業所 H	<p>人員不足。土日の支援に力を入れていきたいが、人員不足によりできない。</p> <p>今後は障害の方の親の高齢化に伴い、支援のあり方を考えていかないといけない。</p>	<p>今のところなし。</p>	<p>休日の移動支援での行き先がない。</p> <p>ショートステイの受入が少ない。</p> <p>市内の公共交通機関が不便。くるくるバスは時間や本数の制限が多くなかなか使いにくい。</p> <p>余暇支援としての移動支援を実施しようにも、利用者のお小遣い等の金銭的制約もある。</p> <p>休日で移動先がないのであれば、日中一時で対応すればよいと思うが、ニーズがどのくらいあるか不明。</p>	
事業所 I	<p>サービスの範囲を超えたサービスの提供を求められることがある。サービスの本来の目的等をしつかりとわかってもらう必要がある。</p>	<p>障害者の家族の高齢化が進んでいることから、グループホームをやっていききたいと思っている。資金、人材等の問題があるため、すぐには難しい。</p>	<p>グループホーム等 障害児の日中一時支援 日中一時支援は場所等の制約が大きく実施ができない。また、新規開設しても、どのくらい利用があるか不透明で参入しづらい。</p>	<p>企業(事業所)に対して、積極的に障害者雇用等の要請を市が行う。障害者を雇う企業の指導者を育成する必要がある。</p> <p>企業が障害者就労施設を気軽に見学できるような仕組みづくりも必要だと思う。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思いますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
<p>相談支援を必要と思われる人が、漏れていないかチェックして、漏れている人を作らない支援体制になるように仕組みを検討する。 手帳の所持の有無関係なく、定期的に見守る必要があります。手帳や自立支援などの更新時や生活保護など何らかの関わりがある時にリストを作り、福祉サービスや事業所を利用してない人をチェックし、見守りをする。</p>	<p>民生委員や一部の地域の方との交流はあるが、地域全体に対しての交流にはなっていない。 利用者のプライバシーとの兼ね合いもあるが、事業所のことが気になる方には、気軽に見学できる機会を考えていきたい。 プライバシーの関係で、交流実施の是非について両極端な意見がある。</p>	<p>地域との何らかの繋がり当事者同士の繋がりや地域の繋がりの機会どちらも大切。当事者活動（家族も含め）が自主的にされる気運が本当は必要と思う。 家族会活動が弱くなってきたが、行政に任せるのもダメで、本人や家族の集まりができるとよいが、まとめるのが大変。</p>
<p>受けるのを待つのではなく、各家庭に回って話を聞くようなサービスが必要。また、市や事業所もどんなサービスを行っているかの発信をする必要があると思う。</p>	<p>交流はなし。 住人による障害者に対する偏見をなくするために地域交流をする必要がある。 事業所を新規開設する際にも、近所の方の反対があり苦労した。</p>	<p>くるくるバスを利用するが、市民が障害者に対してあまりよく見ていない。バスに乗車する際も時間がかかるのでいつも周りに遠慮している。 差別解消法が施行されたが、一般の人や企業にとって障害者の方への理解はまだまだだと感じる。</p>
<p>ネット社会ではありますが、まだまだアナログ世代の方も見えますので、広報等で、どういう取り組みを行っているか、知る機会を与え、ボランティアの方を募る活動も行うとよいと思います。個別訪問されている民生委員や自治会長等とも協力し、地域の困りごとを地域で吸い上げるような仕組みが必要だと思う。</p>	<p>障害児（者）に対して、理解されていない方も多く他人事のように考えている方も少なくないと思います。 講演会、地域のイベントに障害児（者）の方の参加を募ることも大切ではないでしょうか。 大きなイベントではなく、盆踊りのような地域密着型で親御さんたちに出来るだけ理解していただき、本人を外に出すことを努力されるような仕組みも必要だと思う。</p>	

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所 J	<p>利用者1人のためだけに限りある作業を提供しなければならない。その作業もいつ発注元からもえなくなるか事業所自体心配である。</p> <p>様々な作業にチャレンジしてもらっているが、数ヶ月経つ今もできない状態が続き、職員が付き添っていてもできない事が多々ある方の今後の支援、方法に少し悩んでしまう。</p> <p>体験を経て利用し始めた人でも、実際に働き始めるとうまくいかないことが多い。(作業に集中できないなど)</p> <p>就労支援事業所のアセスメント情報と実際の本人の状況は大きく異なることが多い。</p>	<p>最近、施設外就労を始めた。(農家の作業の手伝い)</p> <p>様々なイベント等での出店、自主製品の販売等</p>	<p>障害者自身がサービス内容や色々な支援等を知らない過ぎるので、それをわかりやすく障害福祉サービスとして、提供できるサービスがあってもよいのではと思う。</p> <p>自主的に情報を求めている人に対して情報を届けるのは難しい。</p>	<p>まず、就労先企業に障害者に対する理解を促進する。</p> <p>その人の長所、短所を把握し、長所を伸ばせるようにしていく。</p> <p>本人も気づいていない特異なところを見つけ出し、よい方向へ伸ばしていく。</p> <p>全ての作業に対して自信が持てるようにしていく。</p> <p>簡単な作業から初めて、できることを少しずつ増やして本人の自信につなげていく。</p>
事業所 K	<p>介護職員の人材確保が困難</p> <p>ハローワークで募集し、応募はあったが、条件が合わなかったりしたため採用に至らなかった。</p> <p>知り合いを通じて、頼んでみたが、すでに他の業種に就職してしまっていた。</p> <p>市や公共機関でやれることはない。</p>			
事業所 L	<p>工賃を上げて欲しい。時間を延ばして欲しい。</p>	<p>市内におけるグループホーム設立を検討中(来年度の関連法令改正等をふまえ、やるかどうかの判断をする。碧南市内のどこか(他市も同時開設を考えたい。碧南市、高浜市、西尾市)でと思っている。設立にあたっては補助金の活用は考えていない。</p> <p>社会福祉法人化予定だが、メリット、デメリットを考慮して考える。</p> <p>受託作業の価格を考えたい。</p>	<p>グループホーム事業 就労移行支援事業 自立訓練</p> <p>隣接市の利用があるか、碧南市内のニーズがどのくらいあるか実数を知りたい。</p> <p>市内で通所先を選択できるような複数の事業所があるよい。</p> <p>精神障害は病状の調整が難しいため、市内にもっとメンタルクリニックがあると良い。また、通院時の待機時間を短くできるとよい。</p>	<p>障害受容と精神的側面の安定化</p> <p>主に医療的配慮が大きく、地域に医療的な就労へのアプローチが薄い。作業療法や心理カウンセリングへの処方、支援が必要。</p> <p>目に見えない障害に対するサポートブックのようなものがあるとよいが、本人も知られたくないという気持ちもある。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思いますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
<p>利用者が緊急な時など早目の対応をしてくださると助かります。 担当の相談支援専門員との連絡が取りづらかったりと少し困る時がある。 相談支援専門員が多忙で緊急的な対応を取ってもらえていないように感じる。</p>	<p>クリンピーなど、地域の各イベント等へ参加をする。 イベント参加に対してのハードルは主催者側の要因よりも、利用者側（朝起きられない、人が多い場所は苦手など）の方が多。</p>	<p>たくさんの障害者がいることをわかってもらう。 障害者という3文字の偏見をなくす。 小さい子から高齢な方々もどの種類の障害者になるかわからないのだから、もっと身近に感じてもらえるようにしていきたい。 障害のある方も、積極的に地域に知ってもらう努力も必要。</p>
<p>一般相談窓口の多面化 相談者のニーズの公表 生活、就労、医療、児童などの専門分野ごとの担当者の充実性 週1回でもよいので、公民館などの身近な所に相談窓口があるとよい。 相談窓口の利用の内容など、相談のニーズについて、経年化したデータが確認できるとよい。 相談支援の担当者が足りていない。</p>	<p>町内会への入会や商工会議所への登録 周知啓発活動（イベントや求人含む） 一般住宅の中にあるので、町内会に入れば余計な心配をかけないように地域の繋がりが持てる。 内職の受託先が入っているので、商工会議所の会員になれば、他にも受託先が増える可能性が広がる。 事業所のまつりなどを通じて地域での障害の理解を深め、障害者雇用の啓発につなげるなどが必要。</p>	<p>精神単科の病院やデイケアがあると非常に負担が減ると思います。 ピアサポーターの活動や場所の設置が増えるとよいのでは。民間に窓口があった方がよい。駅とか商業施設など、ちょっと買い物やお茶に付き合ってくれるとかしてけるとよい。 ガンになると精神障害になりやすいため、ガン患者などのピアサポーターを設立すると経験談を話しながら接してくれるとよいのではないかと。 診察券と受診明細や受給者証等で利用できる医療施設専用送迎バスがあると、利用者も制限でき、医療受診が充実するうえ、地域の障害への理解が進むきっかけになるのでは。 店で実物を見てその場で申請し、購入できるような仕組みなど、日常生活用具の申請を手軽にできるとよい。 目が見えない人がやれる仕事を教えて欲しい。</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所 M	<p>人材不足が課題である。</p> <p>資格登録制度の運用で過去に就労経験があるヘルパー等が把握できれば人材確保に活用できる。</p> <p>また、ヘルパーをただのお手伝いと思っているなど、提供する支援が障害者の自立につながっていないように感じる。</p> <p>現場の意見はサービス内容に尊重されていない。相談支援事業所との連携の強化により現場の意見をサービス等利用計画に反映してほしい。</p>	なし	<p>身体障害の方は多動な知的障害の方と一緒にケアが後回しにされる傾向にあると思われるため、肢体不自由の方向けの通所施設等があるといい。</p>	<p>会社向けに障害者の特性等が書かれたガイドブックを配布するなど、企業が障害への理解を深めることができるような取り組みが必要。</p>
事業所 N	<p>「個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付、地域生活支援事業その他の支援を総合的に行う」とする障害者総合支援法の目的に沿った相談支援の提供ができていないのか、個別のニーズや本人の意思決定に基づく支援が提供されているか、ともすると相談支援が相談者の生活等の制限や権利侵害をする危険性がある。</p> <p>個人のサービスを考える際にニーズでなく、本当に必要なサービスや本人の出来ることを考える必要がある。</p>		<p>共同生活援助 就労継続支援A型 行動援護 短期入所 生活介護（数年後に不足） 相談支援事業所</p> <p>碧南市は、南の端で立地がよくないので、事業所が増えないのではないかと。</p> <p>人材確保 財団等の補助金を上手く活用できる仕組み</p>	<p>それぞれの障害や病状、本人の特徴に合った支援が実施できる体制（精神障害、発達障害の方の支援が手薄な印象。） 職場定着支援体制の整備。一般就職者は徐々に増えているが、十分な定着支援体制ができていない。障害者就業・生活支援センター、障害者就労支援相談所だけでは対応しきれない。</p> <p>徐々に連携が図れていると感じるが、さらにハローワークとの連携が図れると良い。</p> <p>碧南市内の障害者求人増加。（中小企業等の障害者雇用に関しての関心の高まりなど） グループホームなど生活を支える資源の増加。</p> <p>障害者手帳はないが、障害が疑われる方やひきこもり傾向の方の相談に応じることもあり、碧南市内にも若者サポートステーションの機能を持った機関があると良い。</p> <p>支援に繋がる前段階として、若者サポートステーションの機能を持った機関があるとよい。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思われますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思われますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
	<p>交流は特にはない。背景として利用者の中には障害福祉サービスを利用していることを知られたくない方もいることや、事業所の人材不足のため地域との交流はできない状況である。</p>	<p>重度障害を持つ母親など夜の介護のため、夜眠れないことが多く、心身ともに疲れ果てている方もあり、障害者も高齢者のように長く泊まれる短期入所施設が必要だと思われる。</p>
<p>相談支援専門員の人材育成とキャリアアップ 計画相談支援（障害児相談支援）から見える地域課題を集約する仕組み 個別ケースから見える地域課題を集約する仕組み</p>	<p>相談支援事業においては、各相談員が民生委員はじめ、様々な地域関係者と連携をし、対応している。 いかにアウトリーチをして、ネットワークを作るかが大切である。 事業所として地域との交流をすることはない。 ケース毎にどのように地域と繋がっていくかが課題であり、学校、集合住宅の役員や管理人、商店など福祉サービスのみで終わらないようする必要がある。</p>	<p>障害に対する理解促進、医療との連携やネットワーク作りを推進し、多様な方々の生活を受け入れられる地域の体制づくりが必要である。</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所 O	<p>強度行動障害を持った方への支援を充実させていこうとすると多くの人手が必要です。</p> <p>しかし、現状の報酬単価等ではなかなか経営的に厳しく、正規職員を増やせないという問題があります。</p> <p>また、求人募集をかけてもなかなか集まらないという課題もあるため、碧南市とハローワークが主体となって碧南市内の事業者がメインの新卒対象の就職フェアを開催して頂けるとこの状況を少し打破出来るのではないかと思います。</p> <p>市内の事業所が協力して就職説明会を開催しても良いかと思います。</p> <p>グループホームの報酬単価は特に低く感じる。</p>	<p>65歳問題を解決する方法として、介護保険サービスへの参入を視野に入れています。</p> <p>障害福祉サービスに強い法人が高齢者のデイサービス等を行うことにより、65歳到達時に介護保険サービスへのスムーズな移行がやりやすくなるのではないかと考えています。</p> <p>また、グループホームの整備も緊急的な課題の一つだと思われます。</p> <p>介護保険サービス事業、グループホームの開始、開所にはやはり人員確保の難しさがついてまわります。</p> <p>また、医療ケアが必要な人のための小規模入所施設の開所等も検討している。</p>	<p>充足しているサービスの方が少ないと感じているが、中でもグループホームの数が圧倒的に不足していると思われます。</p> <p>当法人としても、5年先・10年先を考えた場合、法人内の利用者だけでもかなり不足するのではないかと危惧しています。簡単に整備できる問題ではありませんが、市とも連携を図りながら増やしていければ良いと考えています。</p> <p>人材に関しては法人で整備していくしかありませんが、場所、お金の問題は市有地の有効活用や市独自の補助金があれば解決できると考えます。</p>	<p>法定雇用率の関係で現状としては昔に比べて求人が多くなってきているように感じています。</p> <p>しかし、企業としても障害者雇用に対して正しい理解がなければ、障害者の離職してしまうリスクは高くなってしまいます。企業が継続して障害者を雇用し続けられるよう、企業向けのセミナーや研修等が必要ではないかと考えます。</p> <p>また、企業と障害者をマッチングしフォローしていく役割を担うジョブコーチの認知度を上げることも大切です。</p> <p>どんなに能力が高くても、生活習慣や社会のルールが守れない方の就労は困難です。生活基盤を整え、場合によっては生活そのものを支援していくことも重要であると思います。</p> <p>実際に雇用がうまくいっている企業などの訪問ツアーを企画し、ノウハウを学ぶような機会を作ることも必要だと考えます。</p>
事業所 P	<p>少人数の事業所のため、1人あたり抱える件数が多く、何か問題が起こった時に対応しきれない。</p> <p>新規採用による人員体制強化は考えているが、定着しない方にやってもらいたくないという気持ちもある。現在は同法人内職員が兼任することで何とかやっている。</p>	<p>今のところなし。</p>	<p>土日に日中一時支援を提供する事業所は少しずつ市外に増えてきているが、まだまだ土日や緊急時に利用できるサービスが不足している。</p> <p>また、市内で外泊体験ができる施設があるとよい。</p>	<p>事業所任せの支援ではなく、家庭で基盤を作るのが大切だと思います。一般就労を考えている方でも家庭での日常生活面でできていないことが多いと感じる。</p> <p>家庭で就労に向けどんなことを取り組むべきかをテーマとした講座を開催できるとよい。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思いますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
<p>慢性的な人材不足の解消が必要です。そのためには、現在の報酬単価では相談支援事業所単独での採算がとれず、雇用も難しいのが現状です。市独自の補助等を検討して頂けると大変ありがたいです。</p> <p>当法人の職員にも言えることですが、まだまだ相談支援専門員がどのような役割を持っているのかを知らない人が多いような気がします。相談支援専門員の作る障害サービス等利用計画の意味を障害福祉関係職員が理解していくことが体制強化につながるのではないかと思います。</p> <p>法人内では相談支援についての説明会を開催しています。</p>	<p>地域交流の一環として、年2回のイベントを開催しています。このイベントでは、来場者としてのみならず、ボランティアとしても多くの地域住民の方にも来て頂き、より良い地域との関係作りが出来ていると考えています。</p> <p>また、中学校や高校などのボランティアも積極的に受け入れており、障害者の方の普段の生活や取組を少しでも知ってもらうようにしています。</p> <p>交流を行う際に必要なことは、情報を発信することだと考えています。どんなに素晴らしい考えや思いがあったとしても相手に伝わらなければ意味がありません。情報を広く発信することで多数の方へ当事業所がどんな場所なのか、何をしているのかを知ってもらいたいと思っています。</p> <p>イベントは福祉に興味がある人しか参加しないので、一般の方に向けより良いPR方法を検討していかないといけない。</p> <p>また、福祉事業所内に一般の方が立ち寄れるコミュニティスペースがあり、そこで地域の人と交流できる機会が創出できるとよいと考えます。</p>	<p>相互理解（地域住民の方と障害者本人）が必要かと考えます。この相互理解を円滑に進めていくために私たち福祉従事者が存在しており、利用者本人への支援だけに留まらず本人が豊かな人生を送れるように地域を巻き込んだ支援が大切です。市には地域巻き込み型支援の先導役を担って頂きたいと思いません。</p>
<p>相談支援専門員1人あたり抱える利用者数の上限を決める。1件1件に目の届いた支援が可能となれば、強化に繋がると思う。それにより研修等に参加できるようになれば、尚よいと思う。</p> <p>今は市内の相談支援事業所は全ての障害を対象としているため、それぞれの障害に特化した事業所ができれば体制の強化につながると思う。</p>	<p>今のところ事業所単独では地域交流はないが、今後は同法人のイベントに参加するなど、地域との交流を図っていききたい。</p>	<p>地域住民の方の障害に対する理解を深める。地域住民の方はニュースやネットに流れる悪いイメージばかり持たれる方も多くいるのではないかと思います。</p> <p>市の広報などで一般の方が障害に興味を持ってもらえるようなアピールや各事業所が開催している福祉のイベントへの参加の呼びかけをしてほしい。</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所 Q	<p>人員不足のため、希望日、時間に対応することが難しい。</p> <p>家族の希望でただ時間をつぶすためだけに移動支援を提供するなどサービス本来の目的からずれたサービスを提供せざるを得ないときがある。</p> <p>重度の方の移動手段があまりない。</p> <p>くるくるバス利用時、運転手や他の乗客から嫌がれることがあるため、くるくるバスが利用しにくい。</p>	<p>現在、利用者の高齢化が進んでいるため、今後介護保険に移行していく利用者のための介護保険の事業を開始したい。</p> <p>介護保険の事業を開始するためのハードルとして人員不足が挙げられる。職員募集をしてもなかなか新規採用につながらない。</p>	<p>土日や通所施設が休みの際の障害者の居場所が少ない。居場所がない障害者の中には、移動支援を利用して時間つぶしをしている方も少なくない。</p> <p>障害者の居場所として開放される施設が多くあるとよい。</p>	
事業所 R	<p>利用者の多くは精神障害者であるが、障がいの特性上、利用者の気分により作業効率が異なるため、納期の見立てが難しい。</p> <p>利用者それぞれの障害の特性上、作業の連携が難しいこともある。</p> <p>知的の方は、凝視行動や突発行動が特徴的にみられ、精神の方は他から刺激に弱い傾向があるので、作業を分離を図ったり、鬱憤は出来る限り職員に発散するようにしている。</p>	<p>予定は未定だが保有する集合住宅の空室や人材の確保できればグループホーム事業所を始めたがよい。</p>	<p>土日の支援や障害者だけでなくその親も含めた世帯の支援を行うためには、日中活動系サービス事業所や高齢者向け住居が併設されているグループホームが必要である。</p> <p>また、入所施設も不足している。</p>	<p>障害者の方々の働く意欲の向上や自立にむけて、一人でも多くの方が適正に応じた職業に就き、個人が持つ能力を発揮できるように支援していく必要がある。</p> <p>障害者の就労先として家庭支援、就労時以外にも体調面の問題などでSOSが出せる環境であるとよりよい。</p> <p>また、無理な出勤をさせないようにするなどのフレキシブルな対応も就労先の企業に求められると思う。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思われますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思われますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
<p>強化のためには相談支援専門員が少ない。現状は相談支援専門員1人当たりの担当件数が多すぎるため、きめ細かなサービス提供が届かない。 また、相談支援専門員の質の確保のため、様々な実務経験を積んだ方が相談支援に従事できるような仕組みがあるとよい。</p>	<p>地域の会議、研修等に積極的に参加したいと思っているが現状参加出来ない。</p>	<p>地域の人も入ってお茶やお菓子等を持ち寄っての話し合える場所があり、障害者の方や一般の方が交流でき、理解し合えるとよい。</p>
<p>一つ事業所で全部の分野の専門性を確保するのは難しいため、相談支援事業所ごとにそれぞれの得意分野に特化し、分野ごとのノウハウの蓄積や専門的な人材を育成することで、様々な専門家を市内で確保する仕組みがあると良い。</p>	<p>地域自立支援協議会に参加し、他の事業所との交流をしている。 地域福祉推進会議や地区の防災訓練を通して、地域の方々との交流を行い、顔が見えるつきあいをしている。信頼関係を築くことが大切だと思う。</p>	<p>障害者が安心して、自立して暮らしているようなシステムを構築して欲しい。例として、親が高齢になり、親に依存していた障害者が一人で自立できるように早い段階でグループホーム等に入所し、家事や就労等、自立した生活を送れるためのシステムを作ってほしい。（親が入っているサービス付き高齢者住宅の隣にグループホームを設置すれば安心して繋がる。）</p>

事業所別	質問1 障害福祉サービス等を実施、提供するうえでの問題点や課題はありますか。また、解決する効果的な方法等あれば教えてください。	質問2 貴事業所で新たな障害福祉サービスの実施予定や、今後やっていきたいことなどはありますか。また、具体的な計画等あれば教えてください。	質問3 碧南市で不足している障害福祉サービスは、どのようなものと思われますか。また、どうしたらそれらのサービスを実施する事業所が増えると思いますか。	質問4 障害のある方が就労するにあたって必要な支援は、どのようなものと思われますか。また、効果的なよい方法があれば教えてください。
事業所 S	<p>課題は人員不足、サービスの質の確保である。現状の受注で人員の余裕があまりない。質の向上のためにも研修を行いたいが、時間を割くのが難しい。サービス利用に対する支援計画の作り方や、支援者の教育も現場で教えていくことが、十分にできているか不安なこともあり、他の事業所などどのように取り組まれているか知りたい。</p>	<p>具体的な方針はないが、訪問系だけでなく、放課後等デイサービスや介護保険のデイサービスなどの通所系のサービスもやっていきたい。</p>	<p>障害者等が安心して遊べる所が不足している。ヘルパー利用者のなかには、在宅生活に楽しみが見いだせていない方もおり、日々の楽しみや生きがいとなるようなものがあると良い。</p>	<p>就労場所への送迎があるとよい。</p>
事業所 T	<p>一般相談支援を実施する際の相談支援専門員の負担が大きい。また、サービス等利用計画を作成するにあたり各事業所の細かい事業内容、営業時間が把握できていない。モニタリングが必要な人に対して真に必要な分が支給されていない。</p>	<p>障害児相談支援の実績はほとんどないが、今後は積極的に実施していこうと考えている。（9月からの利用予定者あり。）</p>	<p>意思疎通支援事業、日中一時支援事業についての研修会や発達障害の方とのコミュニケーション方法に関する勉強会を市内で開催するべき。</p>	<p>相談支援事業を提供する際に利用者を送迎するような車を借用できるようにしてほしい。</p>

<p>質問5 相談支援体制の強化に必要なことは、どのようなものと思われますか。</p>	<p>質問6 貴事業所と地域との交流は、ありますか。また、地域との交流を行う際に必要なことは、どのようなことだと思いますか。</p>	<p>質問7 障害のある方が地域で暮らすために、今の碧南市に必要なと思われることは、どのようなことだと思いますか。また、具体的なよい解決方法等あれば、教えてください。</p>
	<p>地域の行事に参加するべきとは思 う。 通所事業所は、その場所でイベントが開催することもできると思うが、ヘルパー事業所は難しく感じる。他の事業所が開催するイベントに参加することは可能だと思う。 地域福祉推進会議で出てきた交流のアイデアを実践したり、会議自体などに積極的に参加していきたい。 一般の企業や商店でも障害者や高齢者との対応で工夫されているところがあると思われるため、見学等してみたい。</p>	<p>施設（グループホーム等）を増やす。 道路の整備（車いすでは、危ないところがある。ガタガタの道や狭い道など）</p>
<p>新規で相談支援を開設する際の補助があるとよい。現在の補助は、支給要件が厳しすぎる。</p>	<p>自立支援機器等の勉強会を住民向けに実施している。</p>	<p>土日の居場所づくり及び突発的なニーズに臨機応変に対応できる体制づくり。</p>

4 市内の障害福祉サービス等事業所一覧

種別	施設名	事業内容
訪問系	碧南ふれあい訪問介護事業所	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護
	ふれあい支援センター	居宅介護、重度訪問介護
	はーねすケアセンター	居宅介護、重度訪問介護
	エンジェルス	居宅介護、重度訪問介護、同行援護
	ヘルパーステーショントマト	居宅介護、重度訪問介護
	伏見之園・かなりやヘルパーステーション	居宅介護、重度訪問介護、同行援護
	訪問介護ステーションのんのん	居宅介護、重度訪問介護、同行援護
	ヘルパーステーションひまわり	居宅介護
	訪問介護ファンタジスタ	居宅介護
日中活動系	碧南ふれあい作業所	生活介護
	ふれあい福祉園ガイア	生活介護、短期入所
	ふれあいの杜まんなか	生活介護、短期入所
	ふれあい工房アルゴ	就労移行支援、就労継続支援B型
	サンたなお	就労継続支援B型
	就労センターオアシス碧南	就労継続支援B型
	就労センターオアシス碧南3	就労継続支援B型
	デイサービス天神	生活介護（基準該当）
	デイサービスかなりや	生活介護（基準該当）
Sun Flare（サンフレア）	就労継続支援A型	
しーずん	就労継続支援B型	
居住系	ふれあいハウス	共同生活援助

種別	施設名	事業内容
相談支援	碧南ふれあい相談支援事業所	指定一般相談支援、計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援
	ガイア相談支援センター	計画相談支援、障害児相談支援
	生活サポートみらい	指定一般相談支援、計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援
障害児通所支援	ふれあいの杜まんなか	放課後等デイサービス
	木葉（このは）	放課後等デイサービス
	りはくる	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援
	児童発達支援事業所 空（そら）	児童発達支援
	ぷちま〜る	児童発達支援
地域生活支援	碧南ふれあい作業所	日中一時支援
	ふれあい福祉園ガイア	日中一時支援
	ふれあい支援センター	移動支援
	はーねすケアセンター	移動支援
	木陰（こかげ）	日中一時支援
	碧南ふれあい訪問介護事業所	移動支援
	エンジェルス	移動支援
	あおみJセンター	地域活動支援センター
	ふれあいの杜まんなか	日中一時支援
	ヘルパーステーショントマト	移動支援
	伏見之園・かなりやヘルパーステーション	移動支援
	訪問介護ステーションのんのん	移動支援
	ふれあい工房アルゴ	日中一時支援
ヘルパーステーションひまわり	移動支援	
訪問介護ファンタジスタ	移動支援	

5 第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画策定経過

実施年月日	内容
平成29年6月29日（木）	第1回碧南市地域自立支援協議会にて協議
平成29年8月21日（月）から 平成29年9月7日（木）まで	アンケート及びヒアリング実施（障害児者関係団体、ボランティア団体及び障害福祉サービス事業者）
平成29年9月15日（金）	第2回碧南市地域自立支援協議会にて協議
平成29年10月19日（木）	第3回碧南市地域自立支援協議会にて協議
平成29年11月16日（木）	第4回碧南市地域自立支援協議会にて協議
平成29年12月4日（月）	幹部会報告（市役所部長以上に報告）
平成29年12月14日（木）	福祉健康部会報告（市議会に報告）
平成30年1月4日（木）から 平成30年1月31日（水）まで	パブリックコメント募集
平成30年3月9日（金）	第5回碧南市地域自立支援協議会にて協議